

世界のワイン&スピリッツのビジネス専門誌ウォンズ

*The International Wines & Spirits Magazine For The Trade In Japan*

# WANDS

09 SEPTEMBER 2021  
ウォンズ No.428

特集

生産も消費も増加が続く

## オーガニックワイン2021

クラフトビールで魅力化

## 進化するビール・発泡酒・新ジャンル

WANDS BUYER'S GUIDE

●オーストラリアのシャルドネ

2021年秋冬ワイン市場を読む

# 環境と人にやさしいサステイナブルなワイン造り

## Terra Vitis テラ・ヴィティス



1998年にボージョレ地方で始まったテラ・ヴィティスは、年々進化しておりメンバーの数も増加している。フランスの農業・食料省もEUも認めている、ワインのためのブドウ栽培とワイン造りに特化した認証機関だ。

昨今頻繁に、「企業の社会的責任」という言葉を耳にするようになったが、1998年当時はまだ環境や社会に配慮した取り組みはそれほど大きな関心事ではなかったと思う。しかしボージョレ地方で複数のワインメーカーがタッグを組み、画期的な活動を開始した。土壌の生命力を守ること、栽培環境と自然環境のバランスをとることは重要である。そして、基準や規則の遵守を保証し、共に働くメンバーを守ることは皆の共通の利益に貢献する。これらは最終的に畑の活性化に繋がるため、テラ・ヴィティスという認証機関を創り上げることは、まさに使命であると彼らは考えた。

さらに「環境への取り組み」、「社会的責任」、「経済的な持続性」の3つの柱を基盤とした仕様書を作成した。時代と共に分析や研究が進み社会的背景が変わる中、つねに見直しを行い強化している仕様書には、80の条件が含まれる。メンバーはそれに準拠しているかどうか毎年チェックを受け、認証は1年ごとに更新される。独立した第三者機関による審査に合格しなければならない。

3つの柱の基本となる理念は、人・環境・企業のいずれもが持続可能であること。1992年に開催された国連の地球サミットで発表された「持続可能な開発」の概念に沿った内容だ。

### 1) 環境へのコミットメントの保証

自然環境とブドウ栽培環境の間の生態学的なバランスを維持するため、人による介入を制限する。そして、生物多様性を重視し、生きた土壌を次世代に繋げる。

### 2) 社会的責任

ブドウの樹からグラスまで、トレイサビリティによる品質保証がテラ・ヴィティ



スの基本。また生産現場ではHACCPのプロトコルを遵守し、安全と衛生管理を行う。さらに、従事者及び管理者は研修を定期的に受けなければならない、より良い仕事の管理と健康維持を行っている。

### 3) 経済的持続性の向上

生産者はテラ・ヴィティスの規則を遵守することで、外部監査を経てその利益を保証される。また、フランス農業・食料省が定める公的環境認証と同等の基準をクリアしたことになる。

年々増加するメンバーの数は2021年で1,876軒（前年比35%増。協同組合43、独立した生産者1,806、ネゴシアン27）となり、そのブドウ栽培面積約45,000ha（前年比30%増）はフランスのブドウ畑全体の5%に相当する。地域の内訳は、アルザス0.4%、ボージョレ2%、ボルドー23%、ブルゴーニュ&ジュラ2%、シャンパーニュ1%、ロワール8%、ローヌ&南フランス64%。AOPとIGPの数では220に及ぶ。

テラ・ヴィティスのメンバーになることで、フランス全土の生産者が参加する

ネットワークに属し、様々な経験や情報を共有できることも利点のひとつとなる。また、専門家のサポートを受けることも可能だ。内外からもとくに、透明性とトレーサビリティ、ビジネスとしてのワイン生産の持続可能性についての評価が高い。知っておくべき認証のひとつと言えるだろう。



## テラ・ヴィティスと他認証との比較

			
名称	ユーロリーフ Agriculture Biologique	テラ・ヴィティス Terra Vitis	HVE Haute Valeur Environnementale
創設	1992	1998	2014
ワインのためのブドウ栽培とワイン造りに特化	✗	✓	✗
ラベル表示による付加価値	オーガニックワイン	持続可能なワイン用 ブドウ栽培とワイン生産	HVEの規則に則った製品
会社に対する認証	✗	✓	✓
製品に対する認証	✓	✓	✗
第三者機関による年次監査を受ける	✓ INAOに認可された独立機関	✓	✗ 18か月ごとの監査
ブドウ畑からグラスまでのトレーサビリティを保証	✓	✓	✗
持続可能な発展の3つの柱に基づく	✗	✓	✗
運営管理者は	EU	メンバー生産者(組合)	フランス農業・食料省
生産者の安全衛生を監査する	✗	✓	✗
生産者の規則への取り組みを監査する	✗	✓	✗
生産活動が周辺環境に与える影響を抑えるための措置を講じる	✓	✓	✗
植物検疫製品の使用制限	✓ バイオコントロール製品を 除いて禁止	✓ 制限と調整	✗
生物多様性を守る行動の保証	✓	✓	✓
ワインに添加するSO <sub>2</sub> の制限	✓	✓	✗

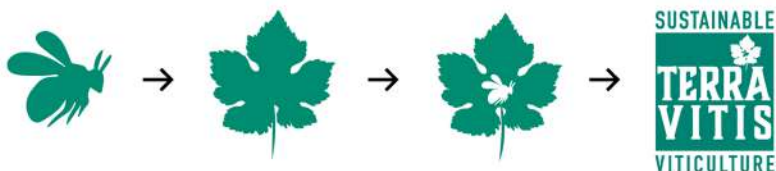
環境と人にやさしいサステナブルなワイン造り

**Terra Vitis テラ・ヴィティス**

自然環境に  
配慮したブドウ畑

人と健康を守る  
ワインづくり

持続的発展を  
めざした事業活動



テラ・ヴィティスのロゴには、ブドウの葉の上でミツバチが休んでいる様子が描かれている。環境にも人にもやさしいテラ・ヴィティスのアプローチは、ワインの販売に携わる人々や消費者へのメッセージであると同時に、ブドウ栽培やワインづくりに携わるスタッフの共通の目標となり貴重なコミュニケーションの手段にもなっている。

1998年につくられた Terra Vitis テラ・ヴィティスは、フランス農業・食料省の認可を受けたワインに特化した認証です。詳しくは公式サイトにて [Terravitis.com](http://Terravitis.com)

世界で最も愛されているフランスワインブランド

# ロシュ・マゼ 11銘柄がテラ・ヴィティス認証

日本市場でも好評のロシュ・マゼは、2020年に世界で最も販売量の多いフランスワインブランド\*となった。その大ブランドの多くの銘柄が、2020年ヴィンテージにテラ・ヴィティス認証を取得。間もなく日本にも上陸する。

ロシュ・マゼは、カステル社が1998年に始めたブランドで、今では58か国に輸出され昨年2020年には6,530万本を出荷し、世界で最も販売量の多いフランスワインのブランドになった。この数字は、世界で毎秒2本のロシュ・マゼが選ばれているという計算\*\*になる。

このブランドの誕生の地は、地中海沿いに広がるラングドック・ルシヨン地方のペイ・ドック。ここにはモザイク状のテロワールが存在し、豊富な日照量、風通しの良さ、温暖な気候などブドウ栽培に恵まれた環境にある。そして豊かな自然に囲まれ、風光明媚な景色もまたこの地方の魅力のひとつと言える。

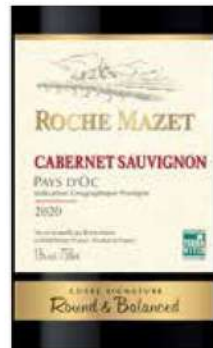
ロシュ・マゼには、ヴァラエタル (IGP)、スパークリング、テロワール (AOP) の3つのシリーズがあるが、核となるのはヴァラエタル・シリーズだ。ワインメーカーのトマ・ランクレ氏は、それぞれのブドウ品種が備えるアロマを最大限に引き出すこと、そして南フランスのペイ・ドックらしい、芳醇でまろやか、フルーティー、そして生き生きとしたバランス良い味わいを体現することを念頭に置いている。それが、多くの人々に愛される

ブランドへの成長に導いたに違いない。

この一大ブランドであるロシュ・マゼの日本へ入荷している11銘柄がテラ・ヴィティス認証取得に至ったのは、カステル社のアラン・カステル社長の決断によるものだという。カステルグループは、1949年にカステル家の9人兄弟姉妹によってボルドーで設立された、フランス最大のワインメーカーとして知られている。アラン氏は、その2代目に当たる。

カステルグループでは、常に時代のニーズを敏感に捉えながら事業を進めてきた。そしてこの20年をかけて培ってきた経験を元に、グリーンであること、環境保全を目的とした栽培方法へのこだわりを目に見える形で表す必要があると判断したのである。

ビオロジック (オーガニック) やHVEの認証も存在するが、総合的に判断してテラ・ヴィティスが最も適切で現実的だと考えたようだ。例えば、ビオロジックもHVEも働く人については一切言及していないが、テラ・ヴィティスは管理者も従事者も定期的に研修を受ける制度が完備されている。また、ビオロジックの場合には病気の防除にバイオコントロー



カベルネ・ソーヴィニヨンのラベルの一角に緑色のテラ・ヴィティスのロゴマーク

ル製品を除き禁止されているが、テラ・ヴィティスは禁止ではなく制限をもうけている。不安定な気候の中、万が一の場合に全く使用できないのは、ビジネスの継続維持を考えるとリスクが高い。また一方では、畑での銅の使用や醸造におけるSO<sub>2</sub>の添加量については必要最小限に規制されている点も気に入っている。将来を見据えた上で、今なすべきことは何か、栽培家の収入や雇用の維持なども含めて考慮した結果、包括的なテラ・ヴィティスを選択したのだと言える。

カステル社による、バロン・ド・レスタック、レゾルム・ド・カンブラスといった大型ブランドも、同じ2020年ヴィンテージから順次テラ・ヴィティス認証マークのラベルへと切り替わる予定だ。

\*IRI CAM P13 2020 \*\*カステル社資料



ワインメーカーのトマ・ランクレ氏。



2020年ヴィンテージからテラ・ヴィティス認証マークが付けられる11銘柄。輸入販売は、国分グループ本社。また、他にオーガニック商品もある。